

2008 年

10 月 25 日（土曜日） - 羽衣天女様、よみがえる -

本日、本市峰山町の交流宿泊施設"天女の里"館内で、地元の皆さんで組織される実行委員会の主催により、初めて第 1 回の「天女の里能」が大勢の皆さんとともに開催をされました。

本市峰山町鱒留大路地域にはいわゆる「羽衣天女伝説」が伝承され、わが国最古の羽衣伝説として、またわが国三大羽衣伝説の一つとして有名であります。そこで平成 12 年には、この羽衣伝説をモチーフにして交流宿泊施設"天女の里"が整備され多くの観光・交流者をお迎えされるとともに、平成 11 年には峰山町で「羽衣交流サミット」が開催され、日本の中で羽衣天女伝説が伝わる 7 地域の皆さんが集って、羽衣伝説を巡って交流と友好を深めてこられましたのは大変意義深く思います。

本年は、そのサミットから数えて 10 周年の節目を迎えたわけですが、このたびは、能・金剛流の今井様のご配意と京都府の事業支援、そして何より峰山町の羽衣伝説に深く関係される安達家はじめ地元の実行委員会の皆様の真剣なご熱意とご努力はじめ大勢の皆さんの心と力を寄り合わされて、「羽衣」が紡ぎ上げられたようで、そして本日は、能により魂が目入れをされて羽衣が地上に甦（よみがえ）られたようで、地元として本当に喜ばしく思います。

羽衣天女様は、伝説では天上に戻られたわけではありますが、本日は、天女様が地上に甦られたようです。地上の天女様は、蚕飼いや機織り、米づくりや酒づくりなど何でも大変上手でらっしゃったと伝えられていますが、本日、「羽衣」が舞われることで、そんな天女様の地上でのお働きも峰山町、京丹後市はじめ丹後において復活しますよう、各種産業など地域の活性化をもたらす導いていただけるご縁起となりますよう、心から期待と願いをいたしております。